

後志地本通信

道本部春闘討論集会 開催される

1月7日～8日に北海道本部2011春闘討論集会在札幌市・自治労会館で開催されました。全道各地から約300人(後志からは11単組・総支部23人)が参加しました。



講演する相原久美子参議院議員

1月7日～8日に北海道本部2011春闘討論集会在札幌市・自治労会館で開催されました。全道各地から約300人(後志からは11単組・総支部23人)が参加しました。

基調講演・道本部提起のあと、討論コースと学習会コースに分かれての集会で、

2011.1.17
=第3号=
自治労北海道
後志地方本部
〒044-8588
倶知安町北1条東2丁目
後志総合振興局内
TEL 0136-22-6636
FAX 0136-21-2105

また、臨時・非常勤等職員の処遇改善は、「独自削減を行っている中で、賃金シェアへの取り組みは厳しい」という発言がある一方、「臨時非常勤等職員の実態をしつかりつかむ必要がある」「正規・非正規、公共民間の仲間が一体となって取り組むべき」という発言もありました。学習コースでは、相原久美子参議院議

ちほんのうごき

12月28日(火)
仁木町職定期大会
1月7-8日
道本部2011春闘討論集会(札幌市)
1月8日(土)
道本部政治政策学習会(札幌市)
1月12日(水)
地本第1回組織強化委員会(倶知安町)
1月17日(月)
道本部第1回拡大闘争委員会(札幌市)

員から「官製ワーキングプアの現状と課題」と題して講演が行われました。「官製ワーキングプア」の問題が解決しなければ、正規職員への公務員バッシングが更に厳しいものとなる。臨時・非常勤等の職場に目を向けてほしい。」と話がされました。

最後の全体集約では、道本部山上委員長が、「使用者側は、労働者を分断して、支配する力を強めてくる。60万人の非正規職員を差別したり区別せず、同じ働くに「暑」が選ばれた。農業新聞を読んでみると、JA道中央会の会長は2010の北海道農業を振り返り、「不」という漢字で表したとの記事が。猛暑をはじめとする天候不順による不作やTTPへの不安などを挙げ、「不順、不作、不安、不満」が北海道の状況だった。また、



道本部 山上執行委員長

労働者として、同時並行的に改善にむけて全体が取り組むのが運動の趣旨である。この認識を一致させ、当面する『臨時・非常勤の処遇改善、雇用安定にむけた法改正を求める200万人署名』の成功を勝ち取ろう」と集約し、終了しました。

「不」には、北海道米の新品種「ゆめぴりか」が販売好調となり、農家の「不順の努力」が実ったことも込められているとのこと。「不安」解消のためには「不順の努力」が必要なんだと感じた記事であった。余談であるが、「不」という漢字で思いついたのは、峰不二子だった。(執行委員長 河田)